

育成 モノづくり人材 Vol. 83

神戸市立工業高等専門学校

神戸市立工業高等専門学校は地元で「神戸高専」の名で知られている。「実践能力を育む」という教育方針の

もと、これまで多くの技術者を輩出してきた。山崎聡一校長は「生徒たちの創造性や問題解決能力の育成に力を注いでいる」とい



山崎校長

【DATA】▷校長=山崎聡一氏▷所在地=神戸市西区▷学科構成=機械工学科、電気工学科、電子工学科、応用化学科、都市工学科▷生徒数=1199人(4月1日現在)▷主要設備=電子式測距・測角儀、光波タキオメーター、全地球測位システム測量機、圧縮試験機など▷主な進路=三菱重工業、トヨタ自動車、川崎重工業、パナソニック、J R西日本、豊橋技術科学大学、神戸大学、長岡技術科学大学、大阪大学など

ロボコン強豪、チーム連帯

う。社会に出た際、実践できる能力の習得を重視している。2017年度からは「ロボッ ト」と「航空宇宙」 「医療」の専攻プログ ラムを新設し、3年次 からの履修科目に盛り 込んだ。各分野の基礎

を検証するなど実践的 な授業(山崎校長)を 実施。企業の研究員 を講師に招いた講義 を講義(同)。フォーラム は、展示会にも意 欲的だ。新産業創造研 究機構(NIRO)や 兵庫県、神戸市などが 実行委員会を通じて主 催する産業総合展「国



ロボットコンテスト決勝戦に向けて試行錯誤する生徒ら

際フロンティア産業メッセ」では、毎年ブー スを出展し生徒らが製 作したロボットを展示 している。17年は東京 が、競技大会への出場 だ。ロボットコンテス トやソーラーカーレー スをはじめとする各種 大会に参加。決勝戦に 出場するなど、実績を 重ねている。海外の提 携校と人材交流を盛ん に行うなど、国際交流 にも熱心だ。 山崎校長は、展示会 やコンテストへの出場 は技術面以外も「生徒 たちのマネジメント能 力を育むきっかけにな る」と解説する。「チ ームで活躍するための 力が培われる」ため、 企業での実践に生き 残る。さまざまな経験の 機会を通して、生徒た ちの可能性を引き出し ていく考えだ。(神戸・川合良典) (金曜日に掲載)